地医第10212号
08. 9. 29
福井県

済福発第438号
2026年　9月　29日

福井県知事　殿

申請者　住　所　福井市和田中町舟橋7番地１
氏　名　社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
福井県済生会病院　院長　笠原善郎

福井県済生会病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の２の規定に基づき、2025年度の業務に関して別添のとおり報告します。

項目１： 基本情報

① 医療機関コード（医科 / 歯科）

医科	1810118909
歯科*	1810133391

*歯科の医療機関コードが割り振られている場合のみ

② 開設者*

住所**	福井市和田中町舟橋7番地１
氏名	社会福祉法人　恩賜財団　済生会支部 福井県済生会　支部長　登谷大修

*開設者とは、医療機関の開設・設営の責任主体であり、原則として営利を目的としない法人又は医師である個人であるものをいいます。

**開設者が法人である場合は「住所」には法人事務所の所在地、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

③ 病院情報

病院名	福井県済生会病院
管理者 役職・氏名	院長　笠原善郎
郵便番号 （半角ﾊｲﾌﾝなし）	9188503
所在地１ （自動入力）	福井市和田中町舟橋7番地１
所在地２	
電話番号	0776-23-1111

一般病床数	408
療養病床数	0
感染症病床数	0
精神病床数	0
結核病床数	4
合計病床数	412

④　地域医療支援病院の承認年月日

年月日	2004/3/29

項目２：　紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

① 紹介率・逆紹介率

紹介率	
紹介患者数　・・・（1）*	10514
初診患者数　・・・（2）**	13250
紹介率　・・・（1）÷（2）	79.35%
逆紹介率	
逆紹介患者数　・・・（3）***	16595
逆紹介率　・・・（3）÷（2）	125.25%

*（1）　開設者と直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された者の数（初診の患者に限る）。以下を含む：電話情報により自院の医師が紹介状に転記した患者、紹介状または検査票のある、精密検診のための受診

**（2）　医学的に初診といわれる診療行為があった患者数（以下を除く：救急患者数、休日又は夜間に受診した患者、自院の健康診断で疾患が発見された患者）

***（3）　診療に基づき他の機関での診療の必要性等を認め、患者に説明し、その同意を得て当該機関に対して、診療状況を示す文書を添えて紹介を行った患者(開設者と直接関係のある他の機関に紹介した患者を除く）。

項目３： 共同利用の実績

① 利用医師等登録制度の実施にあたる担当者の役職

役職	地域医療連携室事務

② 登録医療機関数

登録医療機関数	458
上記のうち、 開設者と直接関係のない*医療機関の数	458

*「開設者と直接関係がない」とは、開設者や代表者が同一である場合、または親族である場合、理事などの役員の3/10が親族が占めている場合、またはそれに準じて重要な影響を与えている医療機関ではないものをいいます。

③ 共同利用状況

共同利用にかかる病床	
共同利用にかかる病床数	40
共同利用にかかる病床の病床利用率*	270%

*共同病床利用率（小数点第1位まで）

$$\frac{\text{共同利用病床を共同利用にて使用した患者の年間患者延数}}{\text{（月間日数×月末病床数）の１～12月の合計}} \times 100$$

共同利用を実施している医療機器*	
☑	CT
☑	MRI
☑	PET
☐	放射線治療機器（リニアック・ガンマナイフ）
☐	マンモグラフィ
☑	その他
▼「その他」を選択した場合は入力してください。	
RI、エコー、XP、骨密度、内視鏡	

*出典：外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第８次（前期）～

▼共同利用している施設（建物）等
開放型病床、手術室、分娩室、外来検査機器、図書室 カンファレンス室、大研修室、研修講堂、医師会交見室 ラーニングセンター

共同利用を行った医療機関の延べ数	3942

項目４： 救急医療の提供の実績

① 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	3062
上記以外の救急患者の数	6704

*:地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬送された患者の数(救急患者の数)

② 重症救急患者のための病床の確保状況

優先使用の病床数	20
専用病床数	0

③ 重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設の概要

救急センター、手術室、HCU、SCU、画像診断センター（CT、MR、レントゲン撮影装置、血管撮影装置、超音波診断装置　など）、内視鏡センター、検査室（生化学自動分析装置、自動血球計数装置、心電計、血糖測定装置、凝固線溶測定器、血液ガス分析装置　など）　※すべて24時間対応可能

*24時間体制になっているかも含めてご回答ください。

④　通常の当直体制以外に重症救急患者の受入れに対応できる体制の確保状況

体制の確保		あり	
▼「あり」を選択した場合は入力してください。			
		常勤	非常勤
医師数		137	11
	うち専従数	0	0
看護師数（准看護師含む）		41	1
	うち専従数	41	0
薬剤師数		24	1
	うち専従数	0	0
診療放射線技師数		35	2
	うち専従数	0	0
臨床検査技師数		37	3
	うち専従数	0	0
臨床工学技士数		21	0
	うち専従数	0	0
上記以外の従事者数		743	83

項目５： 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

① 教育責任者の役職名

役職	院内教育委員会委員長

② 研修委員会

研修委員会の設置	あり
「あり」の場合 その名称を入力	院内教育委員会

③ 研修について

研修プログラムの有無	あり
研修会開催回数*	33
研修会のうち医師以外の医療従事者を対象にしたものの回数	33
研修会参加延べ人数	1186
症例検討会の開催回数	19
医学・医療に関する講習会の開催回数	24

▼主な研修概要

地域連携カンファレンス（第19回71人、第20回56人、第21回67人）
肝疾患従事者研修会（第49回124人、第50回111人）
肝がん・重度肝硬変治療促進事業研修会（158人）
福井県肝炎医療コーディネーター養成研修会（21人）
福井県肝炎医療コーディネータースキルアップ研修会（28人）
第15回済生会生活困窮者問題シンポジウム（180人）
緩和ケア研修会（20人）
胸部レントゲン写真読影会（8回、83人）
福井リバーカンファレンス（2回、24人）
乳がん連携講座（9回、79人）
集学的がん診療センター講演会（47人）
アピアランスケア医療従事者研修会（3回、117人）

▼主な研修施設概要
福井県済生会病院（研修講堂、大研修室、医師会交見室）
福井商工会議所
福井県医師会館

＊：研修会開催回数は、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものに限る

項目６：　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

① 管理責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	病院長
担当者の役職	地域医療連携室長

② 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

▼診療に関する諸記録の管理方法
電子カルテ等に記載し、診療情報管理室および総務・企画課にて管理・保管。
▼病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法
年度別・月別に分類し、地域医療連携室、医療情報課、総務企画課にて管理・保管。

項目７：　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

① 閲覧責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	病院長
担当者の役職	地域医療連携室長　および　地域医療連携室員

② 主な閲覧方法

閲覧方法	閲覧を依頼→地域医療連携室・診療情報管理室で準備 →地域医療連携室・病棟で閲覧

③ 閲覧件数・概要

件数	472
▼閲覧者別件数	
医師	458
歯科医師	4
地方公共団体	8
その他	2

項目８：　医療法施行規則第９条の19第１項第１号に規定する委員会の開催の実績

①　委員会について

委員長の所属・役職	福井市医師会　理事
委員数	17
院外の委員数	13
総開催回数	4
▼概要	
開放型病棟運営状況、紹介率・逆紹介率の推移、救急センター実績、連携事業として行っている研修会について、県統一地域連携パス利用患者年度別推移ーについての報告、情報提供	

項目９： 患者相談の実績

① 主として患者相談を行った者の役職（複数回答可）

役職	医療ソーシャルワーカー、メディエーター

② 患者相談について

患者相談を行う場所	よろず相談外来
総相談件数	14,634件

項目10： 病院機能に対する第三者評価の実績

病院機能について 第三者による評価を受けているか	はい
▼「はい」の場合、どのような評価を受けているか	
日本医療機能評価機構　機能種別版評価項目3rdG：Ver3.0 ISO9001、ISO15189	

項目11： 退院調整部門

退院調整部門の設置の有無	はい

項目12： 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	はい
▼「はい」の場合、情報発信・内容等の概要	
ホームページ、広報誌、デジタルサイネージ、ポスター・チラシ 市民公開講座	

項目13： 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定の有無	はい
▼「はい」の場合、その内容や運用方法の概要	
県統一各種がん連携パス、大腿骨頸部骨折各種パス、脳卒中連携パス、急性心筋梗塞・狭心症連携パス、在宅緩和ケア連携パスを策定、運用。各パス関連会議および勉強会を実施、ホームページへ掲載し普及・推進している。	

項目14： その他の特記事項